

宮城県中学校総合体育大会準優勝!! 大河原中学校サッカー一部表敬訪問

8月2日に、第65回宮城県中学校総合体育大会で準優勝の成績を取めた大河原中学校サッカー部より、表敬訪問を受けました。翌日福島県で行われる東北大会へ向けて、選手代表から「応援してくださっている皆さんに応えられるよう、全力でがんばります」と決意が表明されました。

県大会では、優勝したチームと接戦の末、最後PK（ペナルティーキック）で惜しくも敗れ、優勝を逃してしまいましたが、その屈辱を晴らすべく、東北大会に臨みました。



▲大河原中学校サッカー部3年生と顧問の小室先生(左端)。

みんなで守ろう、「おおがわらルール」 「おおがわらルール」懸垂幕掲揚式

町教育委員会では、平成26年6月に「ゲーム・携帯・スマホのよりよい使い方」プロジェクトを立ち上げ、昨年12月にプロジェクト緊急会議において、「おおがわらルール」として小中学生のスマートフォンなどの午後9時以降の使用を禁止することを決定しました。

そして、この度、町PTA連絡協議会よりおおがわらルールの更なる周知を図ることを目的に、町教育委員会へ懸垂幕が寄贈され、7月29日に役場敷地内で掲揚式が行われました。



▲町PTA連絡協議会平間総一会長(左)より懸垂幕を受け取る齋教育長(右)。

笑顔がいっぱいあふれました

あきらちゃんコロッケくんあそびうたコンサート



コロッケくんの動きに合わせて、体を動かす子どもたち。

8月4日、いきいきプラザで平成28年度震災復興事業として「あきらちゃんコロッケくんあそびうたコンサート(主催:宮城県地域活動連絡協議会・子育てネットらんらんクラブ)」が開催されました。会場に集まった子どもたちはもちろん、付き添いの大人たちも、あきらちゃんとコロッケくんの笑いあり踊りありのユーモアたっぷりのコンサートに、楽しいひとときを過ごしました。



▲あきらちゃんとコロッケくんと一緒にさくさくきーも踊ったよ。

勇気ある行動で人命救助

町内住宅火災時の人命救助協力者へ
大河原消防署より感謝状贈呈

7月4日に町内で発生した住宅火災において、付近の建築現場で作業をしていた作業員6名が、迅速な判断と勇気ある行動で、出火建物2階から救助を求めていた男性を救出しました。

その功績に感謝の意を表して、7月29日に大河原消防署より6名のかたへ感謝状が贈呈されました。第一発見者である㈱タカヤの大沼竜也さんが消防署へ通報。その後、6名のかたが危険を顧みず連携して救助にあたり、ひとりの尊い命が救われました。



左から、佐藤興業の三品貴史さん、千田杜志也さん、㈱タカヤの大沼竜也さん、佐藤正春さん、田名部組仙台支店の増田一記さん、田澤義明さん、大河原消防署齋藤署長。

現地でも大活躍でした 青年海外協力隊の2名が派遣国より帰国

JICA(国際協力機構)ボランティアとしておよそ2年前に海外へ旅立った町内在住の佐藤健さんと工藤貴史さんが、派遣期間を終えて帰国し、8月2日に、表敬のため役場を訪れました。

佐藤さんはパソコンインストラクターとしてアフリカ大陸東部のタンザニアのコミ



写真なども交えながら現地での活動や生活の様子を話してくれました。



伊勢町長を挟んで佐藤さん(左)と工藤さん(右)。

ュニティ開発訓練校で、また工藤さんは農業土木指導者として同じくアフリカ大陸南東部のマラウイの灌漑事務所でそれぞれ活動しました。お二人とも早い時期から現地での生活に溶け込み、半年後には現地語で会話をしていたそうです。派遣はとても充実した内容となり、機会があればまた行きたいと話していました。

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち

「コミュニティ助成交付金」で地域活動の活性化

今年度の交付金で整備された備品(小島区。各種行事での活用を通して、コミュニティ活動の活性化が期待されます)

◎平成28年度 宝くじ助成金交付団体(大河原町)

団体名	助成額	購入備品内容
小島区	210万円	プロジェクター一式、イス、卓球台など

(財)自治総合センターでは、地域コミュニティの健全な発展を図るため、「宝くじ」の収入を基に「コミュニティ助成交付金」を設置し、さまざまな地域活動を行う団体を応援しています。

平成28年度は、全国で合計1447団体に助成金を交付しました。大河原町からは小島区が助成金の交付を受けました。

企画財政課 ☎53-2112